

世界へはばたけ！

マンガで知る

青年海外協力隊

アロ！  
Alo!

「アロ！」はビスラマ語で  
「こんにちは！」という意味で、  
バヌアツの言語です。



ボクは増田竜馬

高校時代に1年ほど  
アメリカ留学をして以来  
「いつか海外で働いてみたい」と  
漠然と思っていた

就職活動中  
ある企業でインターンシップを  
したときのこと

※学生などが特定の仕事の経験を積むために  
一定期間企業や組織で働く「職業体験」のこと。

昔、わたしは  
青年海外協力隊で  
バングラデシュに  
派遣されたことが  
あるんだ

協力隊を  
経験した方が  
きつかったこと  
で

そんな経験を...

現地の経験談を  
直接聞き  
ボクも青年海外協力隊に  
参加したいと思った

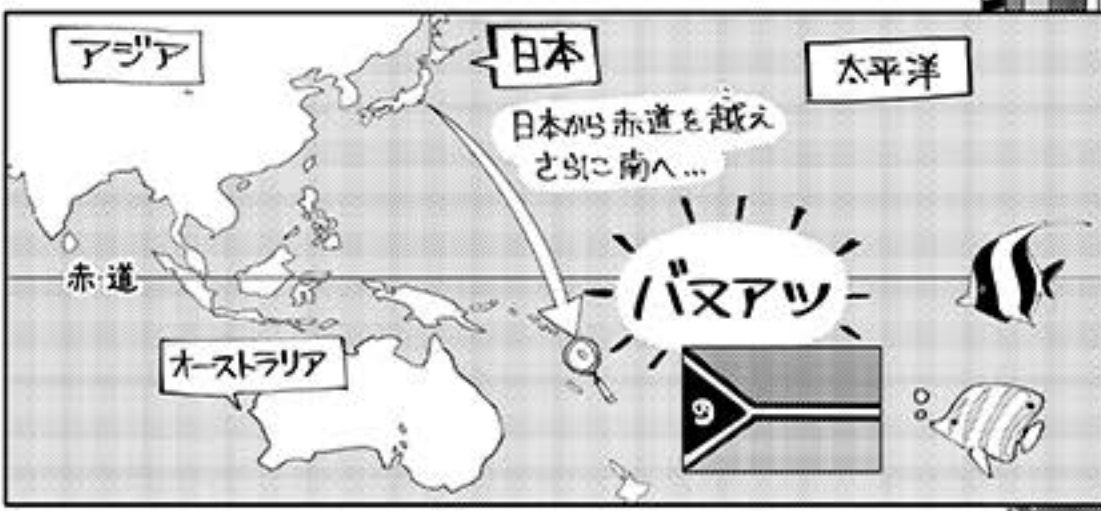
ボクも20代のうちに必ず！

社会人として  
ある程度成長できたら  
応募するぞ！



実際に応募したのは  
3年後のこと

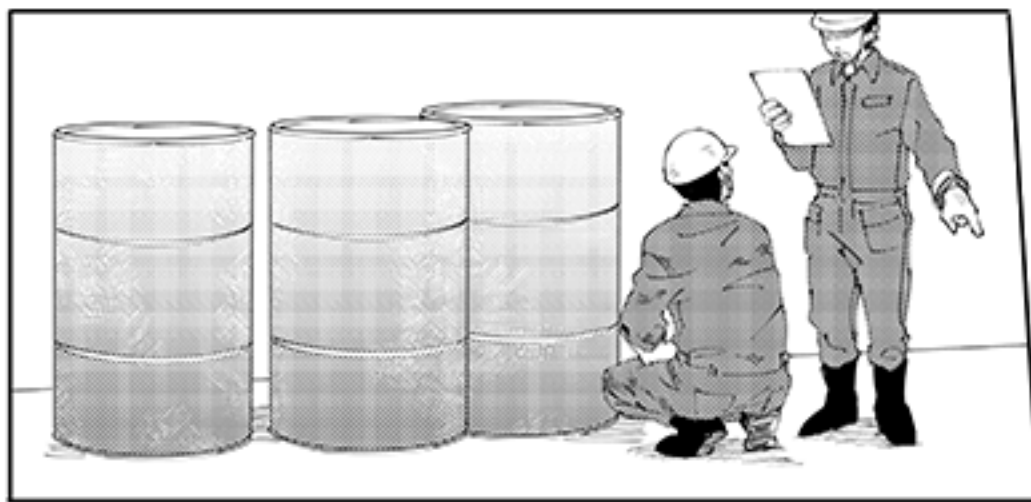
英語は  
ある程度できたので  
派遣先は英語圏を  
希望してバヌアツへ  
行くことに!



面積は日本の  
新潟県ほどで  
人口は約26万人

言語は公用語として  
ビスラマ語（ピジン英語）と  
英語、フランス語が  
使われている

南太平洋に浮かぶ  
複数の島からなる  
「バヌアツ共和国」



サント島にある  
ルーガンビル市役所

リヨウマには  
廃油の処理方法を  
考えてみて  
ほしいんだ

業者も改善策を  
見出せなくて  
困っている  
他にも……

……なるほど

分かりました  
もっと詳しく話を  
聞かせてください

環境「教育」と  
いうより  
行政に近い  
内容だな……

うーん……





廃油を海や地面に  
捨てるなんて…



行政側から  
仕組みづくりを  
支援できたら…!!



キッ



……!



一緒に  
草案(下書き)を  
作って  
くれないか?

はい…

やってみるか!



……ふむ

廃油の処理について  
法令を整備するのは  
いかがでしょうか?

日本と違ってバナアツでは  
市長や知事に会い  
直接相談を持ち掛けると  
話がトントン拍子に進んだ

オイルの小売り会社や  
輸入元と交渉を重ねて  
ボクは廃油を  
リサイクルするため  
草案作りを取り掛かった

それに…

こんなことを  
やりたいんだけど…

じいやい  
ないか！

それなら  
どうなの  
は  
どうだ？

オレの地元だから  
話を通して  
おくら

ありがとう！

幸運にも  
協力してく  
れる  
たくさん  
の人たち  
に恵ま  
れた

そして…

できた！

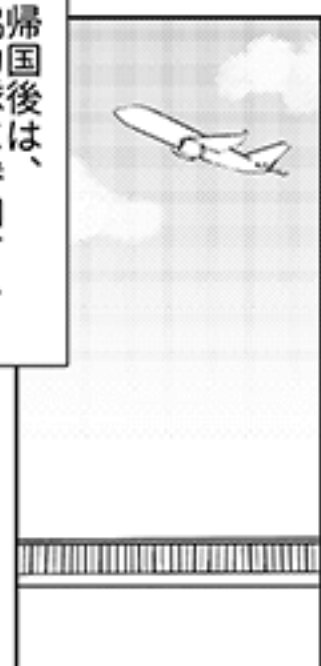
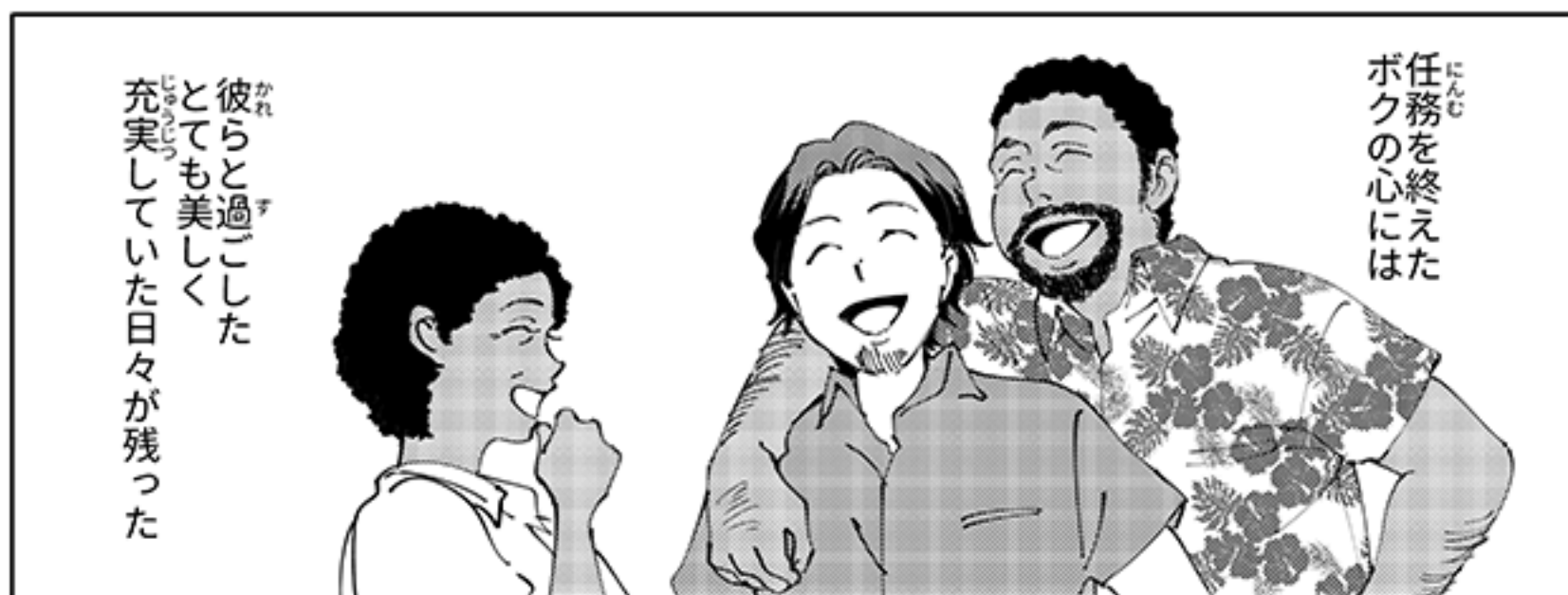
ありがとう！  
これを元  
に進めよう！

はい！

派遣中は  
市長に草案を  
提出する  
ところまで  
進める  
ことが  
できた



現地の素朴な人へ  
島の素朴らしさを伝え  
環境教育も行った





バヌアツはボクにとって  
もうひとつの故郷だ

遠く離れていても  
いつでも帰ることの  
できる場所ができた

バヌアツで  
出会った人とは  
今もメールの  
やりとりをしている

そして  
2年に一度くらいは  
“里帰り”したいは  
思っている

いつかこの会社の  
一員として  
開発途上国の  
役に立つことが  
今のボクの目標だ



青年海外協力隊での経験は  
自分の人生にとって  
絶対にプラスになる！

自分さえ強い意志を  
持っていれば  
これほど素晴らしい  
ものはない

さあ  
次は君の番だ！





**JICA海外協力隊ウェブサイトで他のストーリーも読めます！**

<https://www.jica.go.jp/volunteer/manga/>

検索



※本誌に掲載されている内容はJICA海外協力隊ウェブサイト「JICA海外協力隊の人とシゴト」のインタビュー記事を元に作成しており、マンガ内の表現等は、JICAの公式見解を示すものではありません。